

2004年12月14日発行

エコ・リサ通信

第48号

NPO法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会会報
発行人 高木 康夫

エコ・リサイクル交流集会2005

開催決定

テーマ： 作る人・使う人、共に取り組む環境問題！！

それぞれの“責任” “費用負担” “できること”を語り合おう

皆さんの参加を
待っています



日時:2005年1月29日(土)午前10時より受付
会場:さいたま市民会館うらわ (浦和駅西口徒歩7分)
さいたま市浦和区仲町2-10-22 TEL048-822-7101
基調講演:10時15分~12時
分科会:13時受付 13時15分~16時30分
申し込み締め切り 2005年1月21日(金)

【参加申込み方法】

氏名(フリガナ)、住所、TEL、所属団体(エコ・リサ会員はエコ・リサと記入)、希望分科会、交流会の出席の有無を記入し、郵送又はFAXにより、お申込み下さい。

尚、分科会に参加を希望される方は、裏面の各分科会概要をご確認のうえ、希望分科会番号を第2希望まで記入して下さい。

(注:定員の関係上ご希望の分科会に参加できない場合もございますので、ご了承下さい。)
また、県資源循環推進課のホームページと必要事項を記入の上、電子メールでもお申込み頂けます。

詳しくは同封の「エコ・リサイクル交流集会2005」チラシをご覧ください。

【申込み先】

〒330-9301

県資源循環推進課(郵送の場合、所在地の記入は不要です。)

ごみ減量化・リサイクル促進担当 井ヶ田(いげた)

TEL 番号 048-830-3106 FAX 番号 048-830-4791

ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BC00/core.html>

電子メール a3100-02@pref.saitama.lg.jp

【参加費】無料

* 分科会終了後、交流会を予定しております。(参加費 3,000円:軽食・飲み物つき)

エコ・リサイクル交流集会 2005 プログラム

基調講演 10:15~12:00

テーマ ごみ処理費用は、誰が負担すればよいのか？

-自治体施策調査からの提言-

講師 東洋大学経済学部教授 山谷修作氏

容器包装リサイクル法の見直しを機に、生産者、消費者、市町村の責任分担があらためて議論されています。全国市町村の施策調査で得られた知見をもとに、ごみ有料化や各種奨励施策の導入について提言します。

分科会概要 13:15~16:30

第1分科会 「ごみの処理費について」

埼玉県下各市町村のごみ処理費用の現状は？リサイクルコスト全体を含む廃棄物会計調査の報告。1年でごみを半減した日野市のごみ改革で何が変わったか、外からの分析。ニュージーランドで始まった生ごみ処理について

容器包装リサイクル法の改正を求めるとごみ研究会 中井 八千代 氏

北本市ごみ減量等推進市民会議 ごみ処理の仕組みを考える委員会委員 原 勢太郎 氏

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 竹村元宏氏・中澤啓子氏

第2分科会 「ペットボトル どうする、どうなる、どこへ行く！」

最近、気になりませんか？色々な形やサイズのペットボトル！『このままで本当によいのだろうか』を切り口に、飲料メーカー・行政・消費者、立場の違いを超えて循環型社会を作るためのシンポジウムにご参加を！

三国コカコーラ 総務広報環境部 木川秀一氏

川越県税事務所(元県廃棄物対策課・志木地区衛生組合) 遠藤 誠氏

日本消費者連盟 富山洋子氏

第3分科会 「地球温暖化と私たちの暮らし」

近年、酷暑の夏が増えてきました。特に2004年は巨大台風が10回もやってきました。このまま行ったら私たちや子供たちの暮らしはどうなるの？地球温暖化を防ぐ方法は？私たちは何をすれば良いの？を皆様と共に考えて行きます。

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 大江 宏氏・外谷富二男氏・土淵 昭氏

第4分科会 「容器包装リサイクル法改正の現状！ - 環境負荷と処理費用の低減を目指して - 」

最近リサイクル率は向上したものの家庭からの廃棄物全体量は横ばいです。環境負荷低減のためのリユースの推進と廃棄物処理費用低減等を目指した市民による容器包装リサイクル法改正案について講演と討議を予定しています。

容器包装リサイクル法の改正を求める全国ネットワーク事務局次長 中村秀次氏

(飲料容器リターンブル化による地球温暖化防止の試算報告書作成メンバー・2001事業年度全国廃棄物会計調査報告書発行団体)

知らずに使っていませんか？ - 家庭用品の有害物質

化学物質担当 田中輝子

私たちが日頃、簡単便利に使っている家庭用品の中に、体や環境に有害なものが含まれていることが分かったら、あなたはどうされますか？

このほど出版された「知らずに使っていませんか？ - 家庭用品の有害物質」(ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議作成、頒価 850 円、事務局 TEL.03-5368-2735)の中に、普段何気なく使用している合成洗剤や、漂白剤、脱臭剤、抗菌製品、ヘアケア製品、接着剤、園芸用農薬などがどのような害があり、どういう法律に規制されているか、また成分の見方や、使わないためにはどうすればいいのかが詳しく書かれています。

こういう場合、どうすればいいの？

製品別に対策を表にしてみましたので、参考になさってください。

分類	有害物質名	対策
合成洗剤	合成界面活性剤	石けんに替える
漂白剤	塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)	酸素系漂白剤を使用
トイレ消臭剤	パラジクロロベンゼン	換気、天然の草花
抗菌下着	塩化ベンザルコニウム	免疫力が弱まるので必要なし
テフロン加工のフライパン	有機フッ素化合物	鉄製のフライパンに替える
染毛剤	パラアミノフェノールなど	純粋なヘナで染める
園芸用農薬	マラソン、オルトランなど	早めに虫を見つけてとる、良い土づくりなど
エアゾール式殺虫剤	フタルスリン、ペルメトリン、ピレトリンなど	こまめに掃除、食べ物を放置しない、布団干しなど

化学物質についての今後の特徴的な取り組み

今、化学品の分類や表示を世界的に統一されたものにしようという動きが出てきています。2003年に国連から勧告され、日本でも2006年までに実現することを目指して環境省が動き始めました。

これはGHS(ジー・エイチ・エス: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals)といいます。製品にシンボルマークがつくので、字が読めない子どもでも分かるようになっています。強い毒性のあるものには「ドクロマーク」が水生生物に有害なものには右のように魚が浮いてしまうマークが容



器につくこととなります。対象となる家庭用品の中には洗濯用洗剤
染毛剤、はみがき剤、芳香剤、接着剤、園芸用農薬などがあります。

これだけ化学物質が氾濫し、それによって化学物質過敏症やアレルギーで苦しむ人が多くな
っている今、一日も早いGHSの実現が望まれます。

また、表示の実現を待ちつつも「予防原則」の立場にたって、環境に残留する化学品はでき
るだけ使わないようにしましょう。

JCコーナー ~ストップ・ザ・CO2~ エコライフDAY2004 結果報告

社団法人 日本青年会議所 関東地区

埼玉ブロック協議会 特別議長 北園 稔

埼玉ブロック協議会では、「高軌なる共創埼玉ブロック」～小さな行動から創る感動埼玉～を
スローガンに活動していますが、その中で、埼玉ブロック協議会のエコロジー埼玉の実践として、
川口市民環境会議の皆様と共に、地球温暖化防止を目的とした「1日版環境家計簿」を作成し、
これをもとに子供たちを中心とした県民が環境に配慮した1日を過ごし、その効果(削減した二
酸化炭素量で表現)を集計・発表することにより、地球温暖化対策の普及・啓発に努めています。



本年のエコライフDAYは先日の6月27日に実施させて戴き、県下広く参
加者を呼びかけ、地球温暖化防止、二酸化炭素削減の配慮の1日を過ごして戴
くよう努めさせて戴きました。

地球温暖化が深刻化する一方、環境に配慮した行動をとる人がまだまだ少な
いのが現状であり、普段環境問題を考えたことのない人や、なかなか行動に移
せない人たちにも気軽に参加できるようにし、これまでの生活を振り返り、その後の環境に配慮
した生活や行動へ移すきっかけを作ることを目的とさせて戴きました。

現在の集計結果ですが埼玉全体で、参加者数：およそ 36,000 人、削減量：およそ 4,104,982g、
金額に直すと1年間で8,620万円の節約とすることが出来ました。一本の木(高さ22m 直径26
cm基準)が一年間に吸収するCO₂が13,947gとすると $4,104,982 \div 13,947 = 294$ 本(一日)
に相当します。

【参加者と報告の内訳】

川口市民環境会議	29,046人	2,575,026g
熊環連	3,194人	880,982g
戸田市 小学校分	約1,800人	160,000g
33LOM	約1,000人	140,000g
ホームページ	419人	198,974g
その他	約650人	150,000g

今後も川口市民環境会議の
皆様を中心に埼玉県のご協力を
戴き、県下に広めて参ります
ので、是非とも皆様もご理
解ご協力を重ねてお願い申し
上げます。

ライフスタイル検討委員会 土淵 昭

前回のあらまし

今回は、地球温暖化により 雨量が多いところは益々多く雨が降るようになり、乾燥するところは益々乾燥するようになる。また、台風が大きくなる。 海水面が上昇すると、海岸の堤防を作るだけで、日本の国家予算を全部使っても間に合わなくなる。 海岸の堤防を作っても地下水位が上昇するので、海岸線に沿ったビルの地下室はコンクリートの割れ目から地下水が大量に染み出て、一年中染み込んだ水をポンプでくみ上げなければならなくなる事を述べました。

(4)氷河の後退と積雪量の減少

最近、世界中の氷河が溶けて低い山の氷河が無くなり、高いところのみ残る、いわゆる氷河の後退や積雪量の減少が起きている。一見、氷河の後退は日本と直接関係がなさそうに思うかもしれませんが、実は近い将来、日本に大変な事態をもたらす事が予測されています。

ヒマラヤ、アンデス、ヨーロッパアルプス、ロッキー等の山々は、秋の大雨の季節には雪になって積もり、或いは氷河の氷になる事により、川下が洪水になる事を防ぎ、一方、夏季の乾期にはこれらの雪や氷が徐々に溶けて、川の水量減少を支える、と言う天然のダムになっています。

ところが、最近秋の大雨はそのまま雨となって流れ出すだけでなく、冬の間にも積もった雪までも溶かし出して、しばしば大洪水をもたらすようになり、一方、夏季には水量が極めて少なくなっています。

例えば、中国の長江は最近3年に1回くらいの割合で洪水が起こるようになりましたし、記憶も新しいのですが、昨年と一昨年の2年続いてヨーロッパではエルベ川やライン川が大洪水になりました。

一方、黄河は穀物を作る最も大切な時期の4月半ばから7月一杯くらいの約100日間は干上がって海まで水が届かなくなっていますし、アメリカのコロラド川は年間を通じて海まで水が届かない、完全な内陸川になっています。インダス川やガンジー川、ナイル川などもほんの僅かしか水が流れない様になってきています。

(5)世界的な食料不足が近い将来に

これらのことは、世界の穀物生産がどんどん減ってくる事を意味しています。

中国の大穀倉地帯だった華北平原は、黄河の水の減少にともない、井戸に頼るようになり、浅井戸(と言っても深さ300mくらいの井戸ですが)は97年以来10万本放棄され、新たにもっと深い井戸を22万本掘っており、北京の水道水は1000mの井戸により供給されているとのことです。

そして、中国が経済発展することと相俟って、10年位前までは世界第2位の穀物輸出国だったのが、いまや輸入国になりました。

その輸入量はまだ少ないのですが、もしも中国国民が必要とする穀物の10%分を輸入するようになったとすれば、現在日本が輸入している穀物よ



り多くなり、世界の穀物貿易のバランスは完全に崩れて、暴騰することになるでしょう。

この穀物不足が近い将来起こるのは中国だけでなく、インドもそうなると予測されています。その世界的な穀物不足は、早ければ5年後、遅くとも10年後には起こる、と言っている学者が居ります。

その場合、日本はお金があるから穀物が高くなっても輸入すればよいのでしょうか。

世界的に穀物不足になった時に、諸外国は、日本の自動車と穀物のどちらを買うでしょうか。家電製品と穀物のどちらを買うでしょうか。もしも日本の自動車や家電製品が売れなくなったときは、日本はトタンに貧乏国になるのです。

今のような日本の農政でよいのでしょうか。自給率が僅か40%しかないのに減反をしたり、耕作しない畑があったり、そんな事をやっていてよいのでしょうか。

ま、そのときは無駄に棄てる食品が無くなって、生ごみリサイクルなどは必要がなくなるでしょう。その分燃やすごみが半減して、良い事かも知れません。

(6) 気温上昇が穀物生産に与える影響

一般的に暖かい方が植物はよく繁茂し、穀物なども良く採れる様になる、と考えられています。

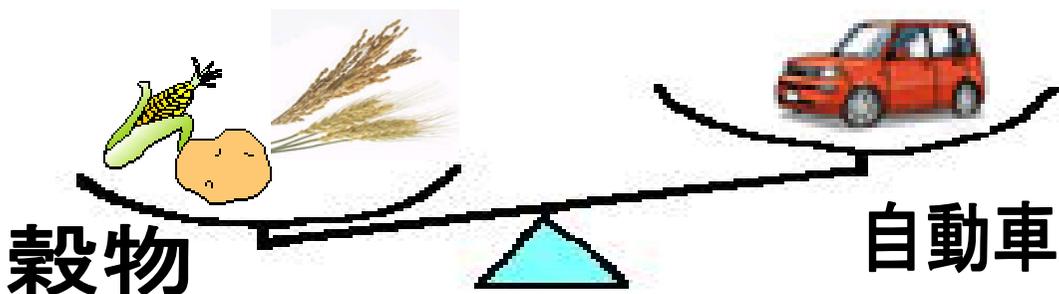
しかしながら、あまりにも気温が高くなりすぎると、かえって穀物生産に悪影響が出るようです。ワールドウォッチジャパン発行で、レスター・ブラウン著、「プラン B」によると、稲や小麦、トウモロコシなどは、気温が20までは気温の上昇とともに炭酸同化作用が進み成長するが、20から35までは横這いになり、35以上は葉の気孔を閉じて同化作用が減りはじめるのに比例して穀物の収穫量が減少し、40を越すと枯れる準備を始める。穀物の開花期に気温が40になると、完全に稔らなくなる。との研究結果が報告されています。

近年、日本の夏の気温上昇は気になります。稲の花が咲く頃の気温が35を越さないことを祈っています。ただ、水田の場合は、天気予報で報道する気温より数度低くなるそうで、その点は救われます。

4. 加速的に進む温暖化現象ほか

これまでに、地球温暖化による影響の事例をいくつか述べ、この他にも色々ありますが省略します。

この後、今の生活を続けて行くと、加速度的に温暖化が進んで暴走し、取り返しがつかないようになることと、どうすれば温暖化の暴走を防げるか、を許されれば次号で述べたいと思います。



葛巻町研修見学会を終えて

上領園子

2004年9月13日(月)～14日(日)クリーンエネルギー先進地と言われる葛巻町へエコ・リサの有志による呼び掛けで9名の参加者を得、探訪の旅に出掛けました。

葛巻町は岩手県の北部にあり、県北の玄関口といわれている沼宮内駅で新幹線を降ります。そこからバス20分ほどで葛巻町に入ります。日本でただ一つ環境エネルギー政策課のある町です。葛巻町は「新エネルギービジョン」を策定しており、クリーンで循環可能な新エネルギーの導入に積極的に取り組むことを宣言しています。その中でかけがえのない地球のために一人ひとりが出来る事として「天と地と人のめぐみ」を活かす事を町民一体となって推し進める事を誓っています。それは、風力や太陽光、畜産糞尿や水力、豊かな風土・文化を守り育てた人のめぐみを大切にすることを挙げています。そして宣言通りに進められている事を見学出来ました。

風力発電は電源開発(株)100%出資の(株)グリーンパワーくずまきによって葛巻町の年間消費電力の約2倍相当(約5400万kw/h)が発電され、他に町が所有しているエコ・パワーくずまき風力発電(約300万kw/h)があります。どちらも世界で初めてといわれる山の尾根伝いに設置されていました。



太陽光発電は中学校や福祉施設

の空き地に、町の広場や公園の建物の屋根に設置されており、個人宅でも7軒あり、太陽熱温水器利用家庭は60軒もありました。又、道の駅などの外灯や役場前の電光掲示板は風力と太陽光発電の混成でした。



人より牛の数のほうが多い葛巻町では畜産排泄物の醗酵によりメタンガスを発生させ、そのガスを燃料に発電し、余熱は醗酵槽を暖め醗酵を促すことに使われるなど乳牛200頭の施設のエネルギーを賄っています。水力では中山間地である葛巻町には小さな滝がありその落差を利用した少規模水力発電がなされており、粉引き水車は現役で働いていました。岩手県は林業の県ですから当然葛巻町も林業が盛んで、間伐材や木の皮、おが屑が大量に出ます、それをペレットにし、ボイラーやストーブの燃料として使われていました。ボイラーは福祉施設やワイン工場の見学施設の暖房に使われており、余熱効果が大きく考えられていたよりも燃料費は少なくて済むという事でした。私たちが訪問した「くずまきアットホーム」は老人介護施設で建物もくずまきの木が使われており暖房がなくとも暖かな雰囲気でした。ボイラーで暖められたお湯は床暖房と施設で使われるお湯を供給しているとの事でした。また暖房もやわらかさを感じると施設の担当者の話でした。ストーブはペレット工場の事務所で使われているのをシーズン前でしたが実際に着火して見せてもらいました。煙突が設置されていたから煙突が必要かと問いましたら早く事務所を暖めるために灯油をかけて着火するために臭いが出るのと、消した時にも臭いが出るからで、家庭用では煙突はついていないし電気も使わずに着火出来るとの事でした。岩手県ではペレットストーブに5万円の助成をしています。県庁内の応接室にもこのストーブが使われているとの事でした。ペレットは1kg25円で町内に出荷されています。私

たちが買う場合は送料込みで kg 当り 45 円ぐらいになるようです。

廃校を利用した「森と風の学校」では子供たちに環境教育がなされていました。環境教育と言うと堅苦しく響くかもしれませんが子供たちの考えを大切に、子供たちが自主的に運営していく体制をとっており、東京から移り住んでいるスタッフは活動の場作りをしていると見て取れました。私たちが訪れた時は平日の午後で子供たちはいませんでしたが、介護者に付き添われたご老人達が来ていました。町の人達皆の学校という風に思われているようで「作業など自発的に手伝ってくれる」ともうかがいました。子供たちは役場のバスで送り迎えがされているそうです。親御さん達にも集まってもらえる場所として喫茶店風にしたいと建設中の建物もボランティアの学生さんたちが泥コネや土壁作りをしていました。土壁は 50cm ほどの長さに切った間伐材を寝かせ泥を挟むといった厚い壁で所々に 1 升ビンなどの色つきビンが寝かされていて明り取り兼装飾になっていました。学校のトイレも同じような壁でビンのそこが丸いステンドグラスのようでした。様式はバイオトイレで用を足した後におがくずを一握り振り掛けることで臭いも消え、姿も見えなくなりやがて分解されます。考え方や写真で見てバイオトイレが存在することは知っていましたが実物を見るのは初めてでした。子供たちは地域の自然に触れ、伝統工芸なども大人から教わり、自然エネルギーの素晴らしさを知り、きっと葛巻を誇りに思える大人になると思いました。



見学を通して葛巻町は日本ではないような気がしました。風景もそうですが人が大切にされていると思えました。お会いした方々がとても優しくかったことも在りますが介護されているお年寄りが生き生きした表情でした。最初に訪問した「くずまき高原牧場プラトー」では、概要説明を受けている時に別の部屋でカラオケが賑やかでした。それは午前中に「プラトー」で奉仕活動をした老人クラブの方達が、午後から特別に得られる入浴と楽しみの一つでした。労働の後の楽しみですから、ただ遊んでいるのではないという堂々とした雰囲気を感じられました。

自然エネルギーを使い、自然を大切に、環境を守ることは人をも大切にすることだと思えました。私が最も感心したことは、町行政の横の連絡が密になされていることです。町を見学していてそれを強く感じました。環境エネルギー - 推進課の進めることを農政も観光、福祉、教育すべて絡んでいることです。こんなことも良い意味で日本的じゃないと言う思いに至りました。そしてやれば出来るという考えを強くしました。

この見学会が実現できたことの第 1 はサイサン環境保全基金による助成があったことによります。そして、葛巻町環境エネルギー政策課主事の下天摩様、私たちには見学や移動にどれほどの時間がかかるかなど想像すら出来ませんでした。それを過密スケジュールにはなりませんが、私達の見学したい所や、葛巻町が見てほしいところを巧く組み合わせで見学コースを作ってくださいました。見学当日はご出張でお留守でしたが、代わって近藤課長補佐が同行してくださり、町が関係する施設を御案内していただきました。近藤補佐は、ごみ担当から移動してきたばかりだと仰りながらも、どんな質問にも答えて下さいました。

次に吉見旅行社の桑原様、旅行社として、この旅行から利益が考えられないと判った後も投げ出さず、こんな見学旅行は初めてだからと慣れない交渉などにも適切なアドバイスをしてくださり、出発まで見届けて下さいました。

以上の方々の御蔭様で大変素晴らしい見学研修会が出来ました。深く感謝致します。

「彩の国リサイクルデータバンク事業」における情報提供のお願い

埼玉エコ・リサイクル連絡会では16年度の事業として表題の事業に取り組んでいます。

現在来年の4月の本格稼働を目指して、システム設計、当事業該当団体・事業者のリスト作成および市場調査を行っております。該当団体、及び事業者につきましては電話帳、各種情報誌、新聞、ミニコミ誌などの掲載情報や広告紙面などからリストの作成をしております。

この事業の最大のポイントは多くの有益な情報を県民に伝え、不用品を少しでも多くリユース（再使用）することです。つきましては皆様に多くの情報をお寄せいただきご協力をお願いいたします。

情報内容は？

現在 www.fuyo-hin.com にてイメージを見ることができます。(一部工事中ですが)是非ごらんください。

1. リサイクルショップ
2. フリーマーケットの開催情報
3. 家庭の不用品を寄付として受け入れている団体(福祉やNGOなど)
4. 修理のお店情報
5. その他こんなお店もどうですか?という情報

情報の内容は店名、業種、連絡先などがわかれば担当者が調査します。自薦、他薦で結構です。チラシや広告などをFAXいただいても結構です。(情報は常時受け付けています)



この事業に関するお問い合わせ、情報の送り先は・・・

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 データバンク事業部
〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和3-1-3 ホップビル3F HOP100 彩内
電話&FAX 048-834-0250
担当者 石川 恵輪
メール ecorisa-i@fuyo-hin.on.arena.ne.jp
URL www.townnavi.info/eco-risa

賛助団体のご紹介（敬称略）

(株)谷澤商会	富士見市
(株)清水金物	秩父市
(株)さしま通商	幸手市
(株)相馬建設工業	川口市
(株)高読	幸手市
吉見商事(株)	熊谷市
森田光一	東松山市
(社)日本青年会議所	関東地区埼玉ブロック協議会

...順不同...

ご支援・ご協力ありがとうございます。

ご支援・ご協
力に感謝して
います。



☆入会のご案内☆

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費(年間) 個人会員 2,000円

団体会員 3,000円

賛助会員 10,000円(1口)

お願い：エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。よろしくお願いいたします。

郵便振替口座番号 00110-7-764571 加入者名 埼玉エコ・リサイクル連絡会
埼玉りそな銀行 川口支店 普通 4062794 名義 埼玉エコ・リサイクル連絡会

〒330-0846 事務所のご案内

さいたま市大宮区大門町 3-205 新井ビル303号室
(JR大宮駅東口から徒歩8分)

TEL 070-6659-6912(担当園田)

FAX 048-642-6163

ホームページアドレス

<http://www.townnavi.info/eco-risa>

編集後記

48号は如何でしたでしょうか？

今回は10ページとボリュームアップし、シリーズで掲載している記事もあります。ご意見・ご感想をホームページの掲示板にお寄せください。お待ちしております！ 担当 宮田尚美